

御館之礎

019203-000-5

特14-352

薬王院国香堂浄蓮寺本紀

藤沢 実言 / 編

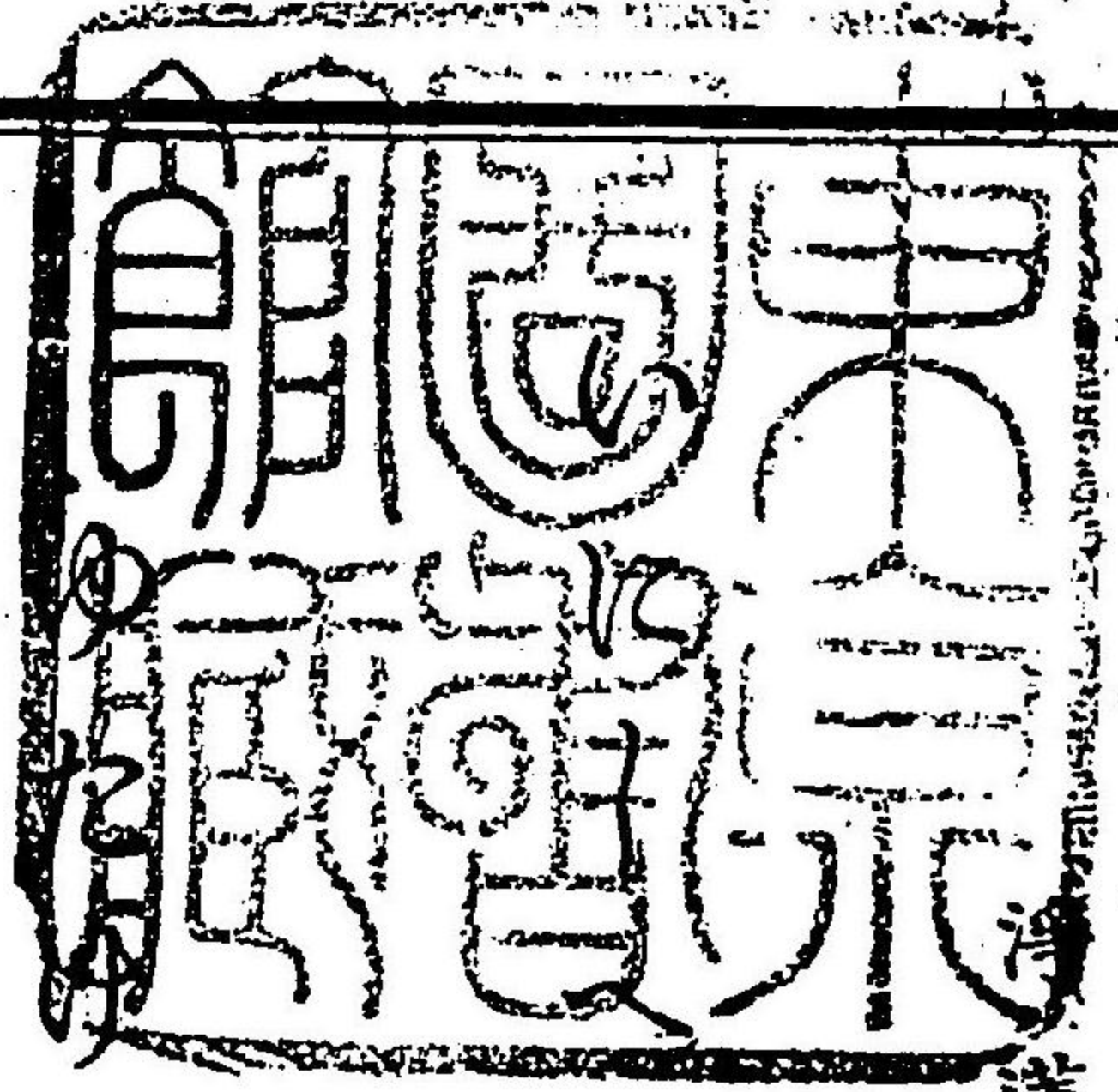
M27.5

ABF-2794



164
624

御館之礎



龍谷連枝本誓院御歌

浄見原の御門にゆかりある

浄蓮寺かたより
立ち出る時よめる

の御あとを志たふ

此里の

さ千代の

春風そふく



御館山藥王院國香堂淨蓮寺本紀
 其源本皇十二代
 景行天皇ノ皇子五十功彥命當村鎮座延喜式ヨリ累
 代刑部造ノ別莊五十功彥命ノ墓當村字江田田ニアリ刑部造累世ノ墓ハ字御池等ニ散在ス倭建命東征ノ歸
 路膳吹山ニ於テ妖神ノ爲メニ惱マサレ毒霧ニ中リ艱歩進ム能ハズ
 方ニ深張ニ歸シテ欲ス五十功彥命トハ昆弟ノ親アルヲ以テ尾津
 前桑名郡今尾津是也志知員辨ヲ經テ此地ニ到リ此別莊ニ宿ス即チ古事
 記ニ吾足如^レ吾重勾而其疲故號其地謂三重ノ舊跡ニシテ當地足洗御
 池ハ命洗足ノ遺跡ナリ今三重村ト稱此謂ナリ右別莊ヲ人皇四十四代天武天皇
 ノ勅願ニ依テ一寺トナス
 今委ク其事由ヲ尋ヌルニ天武天皇白鳳元年夏六月大友皇子ノ乱



御館山藥王院國香堂淨蓮寺本紀
 其源本皇十二代
 景行天皇ノ皇子五十功彥命當村鎮座延喜式ヨリ累
 代刑部造ノ別莊五十功彥命ノ墓當村字江田田ニアリ刑部造累世ノ墓ハ字御池等ニ散在ス倭建命東征ノ歸
 路膳吹山ニ於テ妖神ノ爲メニ惱マサレ毒霧ニ中リ艱歩進ム能ハズ
 方ニ深張ニ歸シテ欲ス五十功彥命トハ昆弟ノ親アルヲ以テ尾津
 前桑名郡今尾津是也志知員辨ヲ經テ此地ニ到リ此別莊ニ宿ス即チ古事
 記ニ吾足如^レ吾重勾而其疲故號其地謂三重ノ舊跡ニシテ當地足洗御
 池ハ命洗足ノ遺跡ナリ今三重村ト稱此謂ナリ右別莊ヲ人皇四十四代天武天皇
 ノ勅願ニ依テ一寺トナス
 今委ク其事由ヲ尋ヌルニ天武天皇白鳳元年夏六月大友皇子ノ乱

ヲ避テ東幸ノ時大和國菟田郡ニ至ル事急ナレハ半塗ニシテ自ラ大
 伴カ鞍馬ニ乘リ皇后持統ハ輿ニ乘テ扈從ス途中伏兵アリ 天皇逃
 レテ山ニ入ル爰ニ石匠アリ水盤ノ内エ 天皇ヲ匿シ其危急ヲ救フ
 夫ヨリ伊賀隱郡ヲ經テ荊荻野近江國今ノ多羅尾是也ニ到リ鈴鹿鈴鹿郡ヲ越エ川曲
 坂下川曲ニシテ日暮レ又其夜雨甚シク從者ノ衣裳皆濕ヒ苦寒ニ堪
 エス三重郡家刑部造是也本城ハ東坂部淨光坊後園其舊跡ナリ別莊ハ當山境内其遺跡ナリニ到リ屋ヲ焚テ漸ク煖
 ナ取ルニ至ル 帝此夜ユノ別莊ニ宿ス實ニ六月廿五日ナリ故ニ後
 世宇シテ御館ト號ス燒墓天皇森車坂御輿原馬越等也字今ニ口碑ニ存ス〇當地氏ノ勸請歟 廿六日ノ朝朝明郡迹太川今ノ米洗川ノ邊ニ於テ 天照太神ヲ遙
 拜シ今ノ鶴村額突山是ナリ此夜 天皇桑名郡家ニ宿ス桑名新屋敷ニ其舊跡アリ慶長十
 四年鍋屋町ニ遷ス今ノ天武天皇

社是ナリ廿七日 天皇皇后ヲ桑名ニ留メテ寶殿町寶殿社是也持統天皇所持ノ鏡硯等今ニ存ス自ラ不破
 ニ入ル群臣京軍ト戰ウコト數度秋七月廿六日大友皇子弘文崩ス九
 月八日 天皇再ヒ桑名ニ至リ九日此地ヲ過テ鈴鹿ニ宿ス此日當地ニ上セシ由口碑ニ傳フ十日河間ニ宿ス十一日名張ニ宿ス十二日遂ニ倭京ニ還幸
 シ即位ノ後大ニ精舍ヲ建テ多ク僧尼ヲ度ス後 帝往事ヲ回想シ報
 恩記念ノ爲メ彼菟田郡ノ石水盤ヲ以テ八體ノ樂師如來ヲ彫刻セシ
 メ其七體ハ大和國菟田郡ニ安置シ本鄉村道遍寺是也後兵火ニ罹リ今ハ一體ノ御首而已存ス然レトモ七樂師ノ會式ハ
例年修ス一體ハ白鳳元年頓宮ノ由緒ニ因テ朱鳥元年南都樂師寺ノ開祖
 祚蓮上人ニ勅シテ此刑部卿御館即テ刑部造ノ別莊ニ安置シ號ヲ樂
 王寺ト賜ハリ永代寶祚延長ノ祈願所トナス之ヲ當山ノ草創トス

天平八年行基菩薩ノ飛錫アリ當山ニ留ルコト數日佛舍利數粒ヲ奉納セリ

天平十二年十一月人皇四十五代 聖武天皇當郡長松山永代寺ニ駐輦ノ際當山ニ行幸シ藥師如來寶前ニ於テ國家安全ノ祈誓ヲナセリ弘仁三年僧空海諡弘法大師當山ニ留錫アリ自テ國香堂ノ三字ヲ書シテ奉納セリ

始祖 法流

寛和二年九月十二日入寂

延長六年伊勢國守護職船木兵部少輔躬常船木直之ノ後裔朝明郡下之宮ニ住スノ招聘ニヨリ僧良源諡慈慧大師當國ニ來化アリ朝明郡垂坂山ニ安居シ玉フ躬常戒名ナ良見ト

授カ良源歸山ノ後真弟法流當山ニ留マリ天台宗ヲ弘通ス之ヲ始祖トス

十二代 祐蓮

元久年中當村城主萩原小太郎政氏聖徳太子御自作ノ阿彌陀如來木像一軀ヲ寄附セラル

十三代 澄念

俗姓ハ平氏小松内府重盛ノ二男三位中將資盛ノ男盛綱ノ四男長崎四郎照光ハ當國龜山ノ城主タリ出家シテ當山傳燈之職ヲ繼ク當山

境内ニ祖先重盛公ノ供養塔ヲ建ツ碑云淨蓮大居士後年當國員辨郡
石樽ニ一寺ヲ創建シ南山長崎院照光寺ト號ス正嘉年中親鸞聖人見
真大師ニ歸シテ真宗トナリ両山ヲ兼務ス

十八代 善讓

正平廿四年九月伊勢國司北畠顯恭朝臣土岐大膳大夫賴康ト此刑部
郷ニ於テ戰ウ當地ハ北畠氏ノ陣營トナレトモ幸ニシテ當山ハ兵變ヲ免レタリ亂平定ノ後北畠家ヨリ天
武天皇御尊牌祭典料若干及下馬牌ヲ賜フト傳フ

中興 明齊

俗姓ハ藤原氏大織冠鎌足公ヨリ十三代駿河守從五位下狩野維景ヨ
リ五代小林家光ノ孫藤澤清親ヨリ十二代左兵衛尉義光ノ三男ナリ
俗名大炊公景齊伊勢國司北畠家ノ家臣タリ幼ヨリ教具卿ニ嬖幸セ
ラル景齊一夜殿中ニ直ス深夜廊下ニ男女ノ密會スルアリ誤テ鼠賊
ト認メ直ニ之ヲ殺ス婦人ノ母悲歎ニ堪ヘス尋テ自盡ス景齊惡意ナ
シト雖モ既ニ無辜三人ノ横死ヲ聞キ深ク悔悟スル所アリ遂ニ亡命
シテ叡山ニ登リ薙髮シテ法名明齊ト號ス權少僧都ニ任セラレ後年
來テ當山二十一代傳燈之職ヲ繼ク
應仁元年八月下旬本願寺蓮如上人謚慧燈大師此地ヲ巡化シ道西坊隨從ス錫ヲ當
山ニ留メ盛ニ他カ易行ノ法門ヲ宣說セリ明齊直ニ天台宗ヲ改メテ

浄土真宗三歸上人自ラ六字ノ尊號ヲ書シテ師弟ノ約ヲナス此時

天台ノ經卷吳當村字御館野ニ埋ム經塚是也明治廿四年十月當山境内ニ移轉ス永正元

年三月廿八日寶如上人ヨリ阿彌陀如來繪像本尊及御文章上人御筆直筆數

通ヲ賜フ依テ別ニ境外ニ一堂ヲ建テ本尊タリシ樂師如來ヲ安ス

明治五年十一月第百三十四號無權無住持寺タルヘキノ布達ニ基キ同六年三月廢寺シ當山ニ合附ス永正元年ヨリ三百七十年ヲ經過シ再ヒ當山ノ境内ニ移ス其緣由深シ

ト云天文八年二月廿一日入寂謚シテ寶界院ト云今師ヲ中興開基ト

シ第一代トス

二代 明智

明齊僧都ノ嗣子ナリ永祿元年當郡下海老原村ニ一寺ヲ創建ス玉横

山明林寺是也同五年當村城主山本豐前守鐘樓ヲ寄附セラル是レ當山ハ山本家累代ノ香華院ナルカ故ナリ元龜元年九月門徒ヲ率ヒ石山本山ノ戰爭ニ從事シ屢軍功アリ天正三年三月廿五日十艘川ニ於テ戰死ス

三代 明賢

明智法師ノ嗣子ナリ長島願證寺ニ籠リ安田空明桑名郡香取村法泉寺ノ住持ナリ平野

總右衛門等ト俱ニ織田信長ノ軍ト戰ヒ屢軍功アリ天正二年七月廿

三日信長子信忠ト共ニ兵數萬ヲ將ヒ期ヲ刻シテ願證寺ヲ攻ム信雄

又舟師ヲ以テ之ニ會シ其勢當ルヘカラス九月廿九日下間三位等

本山坊官下間安藝法眼ノ次男下間堂前ナル者蓮淳僧都ニ隨從シテ戰死シ次ヲ落

願證寺ニ來リ同寺家老トナル其後代々堂前ト稱シ同寺ノ家老タリ戰死シ次ヲ落

城ス初メ城將サニ落ントスルヤ願證寺五代佐堯法名家老常川掃部

延廣ニ實ハ尾州清洲丸ノ内ノ郷士タリ常川家ノ養子トナリ願證寺ノ家老トナル願

一寺ヲ尾張ニ創長子顯惠時ニ二歳ナリ天正十五年願證寺再建ス延廣寺見也

男兵街督纒カニ一歳ナリ法名ハ顯西當山四代ノ住職也ト傳來ノ寶物トナ托シ告ケテ云今ヤ弓

折レ矢盡キ戰フニ道ナシ我方ニ法ノ爲メニ死スヘシ汝等宣ク逃レ

テ後圖ヲ爲セト遂ニ駒居村宇野田脇ニ自殺セリ常川掃部延廣ハ願證師

今嶋折田六右門等ノ方ニ暫ク潛ミ居リ後南郷村ニ於テ願證寺ヲ養育ス師十四歳即チ

天正十五年ヲ以テ桑名候ニ請ヒ桑名傳馬町ニ於テ願證寺ヲ再興ス候寺地ヲ寄附セラ

レ寺領百石ヲ賜フ願證師同寺ノ住職トナリ名ヲ准惠ト改メ良如上人今妹桑姫ニ配遇シ院家及御坊印ヲ賜フ 明賢空明ニ謂テ云君宜

ク奔テ此由ヲ本山ニ報セヨ予ハ委托セラレシ一子ト寶物トナ守護

スヘシト空明即チ酒手川ヲ越ヘ間道大坂ニ到リ顯如上人ニ謁シ長

島ノ落城ヲ上申ヘ明賢ハ寶物ト兵衛督トナ背ニ負ヒ隙ヲ伺ヒ竊ニ

家ニ歸ル下間三位ニ子アリ長男ハ出家シテ法名ヲ了甫ト稱シ一字ヲ建立ス同三

年六月六日當山ハ信長ノ兵火ニ罹リ燒亡ス此時傳來ノ寶物并ニ舊

記録等大半烏有ニ歸ス幸ニシテ御本尊御尊牌等ハ災ヲ免レタリ明賢奮然再建セント欲スル

モ當時兵亂頻ニ起リ民力凋衰舊觀ノ如クスル能ハズ僅ニ假本堂ヲ

建テ御本尊御尊牌ヲ安置シ奉仕セリ慶長八年徳川家伏見奉行加藤

喜左衛門ヨリ六十六國坊主門徒ノ輩志次第勝手ニ東本願寺ヘ隨身

スヘキ旨觸達アリ明賢大義ヲ守リ隨ハス假本堂再建ノ際天台宗十

三代澄念所建ノ重盛公供養塔後年湮滅ヲ恐レテ本堂礎石ノ下ニ埋

三萬世ノ記念トシ且ツ重盛公ノ法名即チ淨蓮ノ二字ヲ以テ寺ニ名
ント欲ス仍テ其由緒ヲ以テ寺號改稱及木佛本尊ノ下賜ヲ本山ニ出
願ス宿志ヲ果サス慶長十六年正月廿四日入寂

四 代 顯 西 或 作 賢 齊

蓮如上人第六男三位法印權大僧都兼譽法名 蓮淳五代佐堯僧都法名 顯忍ノ次男
也童名兵衛督天正二年長島願證寺ニ於テ誕生天正二年九月廿九日
長島願證寺落城ノ時當山三代明賢ニ助ケラレ當山ニ生長ス遂ニ第
四代傳燈ノ職ヲ繼ク天正十五年桑名候願證寺ヲ再興シ舍兄顯慧同
寺住職トナリシ己來本山報恩講ノ際ニハ院家顯慧師ト昆弟ノ故ヲ

以テ特ニ御齊御相伴仰セ附ラル爾來代々住職其先例ナリシカ文化年度暫ク
無住ニテアリシトキヨリ當山廿八日講一人

住職代理トシテ御齋御相伴
ニ預ラシム今ニ其例絶ヘス寛永十八年七月廿八日良如上人ヨリ木佛本

尊及淨蓮寺ノ號ヲ賜フ願主ハ明
賢トアリ爾來御館山樂王院淨蓮寺ト號ス故

ニ顯西ヲ淨蓮寺號ノ始祖トス顯西己來當住ノ實言ニ至ル代ヲ經ル

十五代法脈血脈相續シテ永ク真宗本願寺派本願寺ノ末寺タリ

三重縣三重郡三重村宇御館

御館山藥王院淨蓮寺

十三日...
 二...
 三...
 四...
 五...
 六...
 七...
 八...
 九...
 十...
 十一...
 十二...
 十三...
 十四...
 十五...
 十六...
 十七...
 十八...
 十九...
 二十...

明治廿七年五月二十日印刷
明治廿七年五月三十日發行

非賣品

編輯兼發行者

三重縣三重郡三重村大字西坂部廿五番地

藤澤賢言

印刷者

三重縣桑名郡桑名町大字鍛冶町一番地

後藤安兵衛

印刷所

三重縣桑名郡桑名町大字鍛冶町一番地

清光舍

發行所

三重縣三重郡三重村
大字西坂部小字御館

淨蓮寺執事所

20-86

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100